

るに至りし以來常に露獨兩國は經濟上相互に扶助すべき關係にあるを以て兩國間の戰爭は此の主義に反するものなる事從て之を中止せる旨を論述せり、而して露國に於ては右の如き思想深く各人の腦裡に刻み込まれたるものなるが更に彼等は先の世界戰爭に際し聯合軍の砲身覆として使用せられたるに過ぎざりしものなるを一般に自覺するに至れり。

ミルユコーヌ又はケレンスキーの如き露國を亡ぼす者は何れも殊更海外に亡命せしめたるも彼等は遂に再び露國に歸りて兵を擧ぐるの機會を永久に失へるものと云ふ可きなり。

我が獨逸ケーニツヒスベルグより初めて露國に飛來せる獨逸飛行家は一九二二年五月一日夕、モスコに於て高潮せる感激を以て迎へられるものなるが、如上の一事實が將來に於ける兩大國民の經濟的提携に對する吉兆たらんことを切望するものなり。

吾獨逸國民は戰前の露國を知り又此の大國の發展可能なるを認むるものなるを以て、將來の露國勃興を確信すると共に同國の復興は延いて我が獨逸をも幸するものなる事を期待せんとす否期待せざるを得ざるものなり。(以上)

鞍山鐵礦採礦總局大正十年度 事業概要

(支那鐵業時報第五十六號)

採 礦 作 業

西鞍山採礦所 (興業費の出礦及過斤は含まず以下各礦共同
じ)

本年度總出礦量四六、七二五噸〇五、製鐵所へ輸送量上礦二〇、九四五噸、並礦三三二噸、年度末貯礦量九八、七八二噸五五(上礦四六、二七六噸七五、並礦五二、五〇五噸八)なりとす、各採礦の狀況次の如し。

イ、第一採礦場 第一、第二、第三、第五、切羽共掘下り深くして作業困難なれ共礦床は變化なく年度内の出礦富礦一一、一七〇噸二五なり。

ハ、第二採礦場 壹號より十四號に至る各切羽共礦床の變化甚だしく前年度に比し出礦減少せるも第十五號礦區の出礦多量なる爲め前年に匹敵する數字を示し總出礦量一五、九五七噸二を算す。

ロ、東鞍山採礦場 壹號より十號に至る切羽の内第五號は剝土の進むに従ひ益々展開し出礦増加し第拾號捨礦轉石積疊厚く出礦を増し其他切羽も礦體良好にして一九、五九七噸六の總出礦を見たり。

大弧山採礦場

本年度總出礦量二〇、〇〇三噸、八製鐵所へ輸送量三、一三六噸五並六八〇噸、年度末貯礦量一一九、三六七噸六(上礦二九、二〇五・八、並礦九〇、一六一・八)なり。

富礦床の狀態は大體に於て變化なきも全部坑道掘に移り掘下約五〇米突(百六十五尺)に達し作業及運搬の困難なるが爲め前年度より約三割の出礦減少を來せり。

櫻桃園採礦所

本年度出礦量九三、四三五噸五五、製鐵所へ輸送量五四、八一九噸五、年度末貯礦量四一、九七四噸八(上礦三六、八一九噸八、並礦五、一五五噸)

各採鑛場の状況左の如し。

イ、櫻桃園採鑛場 第一號切羽は當場唯一の大鑛床にして露天、坑道の兩作業を並行せしが露天掘は已に本年度末不可能となりしを以て専ら坑道掘に全力を注ぐ事となしたり、當所の採掘作業は大體前年度繼續坑道掘下と露天の一部及拾鑛にして掘下りは益々深度を増し鑛石の採掘運搬共に困難なりし爲新に富鑛體の探求に努め切羽數を増加し以て前年度と同量の出鑛を見る事を得たり、就中第二號切羽内試錐の結果最も有望なる富鑛體に逢着し厚さ二米突長さ九米突に及び鑛質も頗る良好なり、第一號堅坑と相俟つて近く優良なる成績を擧げ得べしと信ず。

ロ、王家堡子採鑛場は第一、二、三區共上半期に於ける作業は極めて旺盛にして出鑛亦増加せしと雖も下半期に入りて何れも鑛況衰退し豫期の出鑛を見るに至らざりしは遺憾とする所なりとすと雖も殘柱整理又第三區外錐の一時的鑛況に據り愁眉を開くものありたり。

火連寨採鑛所

本年度總出鑛量二七、三三七施、製鐵所へ輸送量四三、一〇五施、年度末貯鑛量二、四八八施なり。

高爐作業の都合に依り本年度より毎月三千噸に減じ尙十二月より毎月壹千五百噸に減掘制限せり鑛床狀態別に變化なし鑛石受拂 (興業費及過斤を含む) 三、七〇九施九五。

鐵 鑛 石 (上鑛) (單位施)

月別	受	入	計	拂出	貯鑛量
前月越高	當月出鑛量				
四月	六三、四四二〇	二、九八九〇	七六、四四一〇	一〇、四八〇〇	六五、九六一〇

月別	前月越高	當月出鑛量	計	拂出	貯鑛量
五月	六五、九六一〇	一八、三七五〇	八四、一八六〇	一三、四四五〇	七〇、七三一〇
六月	七〇、七三一〇	一六、四二六〇	八七、一四四〇	一二、〇〇〇	七五、一四四〇
七月	七五、一四四〇	一八、四六九〇	九三、六一三〇	一二、七三六〇	八〇、八七七〇
八月	八二、六七〇〇	一四、二二六〇	九六、八九三〇	七、五七〇〇	八八、三二三〇
九月	八八、七二二〇	二六、〇八六〇	一一四、八〇九〇	八、一四三〇	九二、六六六〇
十月	九二、八五九〇	一六、六七三〇	一一〇、五三二〇	九、〇〇〇〇	一〇〇、五三二〇
十一月	一〇〇、五三二〇	一三、五五六〇	一一四、〇四四〇	六、六〇〇〇	一〇七、四四四〇
十二月	一〇七、四四四〇	一二、五五二〇	一二〇、〇〇〇〇	三、六四四〇	一二六、三四〇〇
一月	一二六、〇〇〇〇	七、二二五九〇	一三三、六〇一〇	八、九五五〇	一二四、六四六〇
二月	一二六、〇〇〇〇	一〇、〇五三四〇	一三六、六六三〇	七、六五〇〇	一二七、〇一三〇
三月	一二七、〇一三〇	一〇、八三三〇	一三八、八四六〇	四、六五五〇	一二三、一九一〇
計	一、四〇三、〇〇	一六五、二七八、一五	一、五六八、二七八、一五	一〇四、一〇一、八〇	
英佛噸差額量					
總 合 計					

鐵 鑛 石 (並鑛) (單位施)

月別	前月越高	當月出鑛量	計	拂出	貯鑛量
四月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
五月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
六月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
七月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
八月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
九月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
十月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
十一月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
十二月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
一月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
二月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
三月	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇	一四、五九二八〇
計	一、四七九、〇五二〇	一、四七九、〇五二〇	一、四七九、〇五二〇	一、四七九、〇五二〇	一、四七九、〇五二〇

鐵 鋼 石 灰 石 (單位噸)

月別	前月越高	當月出鐵量	計	拂出	貯鐵量
四月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	六、三三六・〇〇	四、九九五・〇〇	五、一三五・〇〇
五月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	六、九七五・〇〇	五、一三五・〇〇
六月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
七月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
八月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
九月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
十月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
十一月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
十二月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
一月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
二月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
三月	三八六・〇〇	三、〇〇〇・〇〇	五、三三六・〇〇	五、一三五・〇〇	五、一三五・〇〇
計					

撫順及煙臺炭鑛採炭作業概況

大正十年十二月分

(一)出 炭

本月中に於ける各坑出炭高左の如し。

第一露天掘三、五七五噸、第二露天掘四九、二三三噸、千金寨三三、〇〇〇噸、大山四〇、〇〇〇噸、東郷二一、三九三噸、楊柏堡四三、五七三噸、老虎臺三七、五〇〇噸、萬達屋一九、七〇〇噸、新屯七、八二七噸、龍鳳一八、一三二噸計二七三、九三三噸にして之れを作業日數二十五日に割當てたる平均一日の出炭高は一〇、九五七噸に當り前月に比し合

計に於て二五、〇二〇噸を増加し一日平均に於て七一八、六八噸を減少せり。

而して之れを前年同期の三〇六、三三〇噸に對比せば合計に於て三二、三九七噸を一日平均に於て三八八・二四噸を減少せり。

(二)採炭華工の現況

前月末人員九、二一六名、募集來坑一五一一名、坑所來坑二、三九七名、退散二、一二三名月末現在九、六四一名、前月末に比し四二五名の増加を來せり、之れ主として結氷期に入りて外部の作業より轉業せしものにして、各坑共愈々華工充實し本月末よりは坑所内の來坑移動も補充以外禁ずるの有様となり之れが原因をなし就業率は前月同様七六%なるも平均工賃は四錢二厘高率して六拾七錢七厘の記録を作れり。

各坑別出炭高前月比較表 (單位噸)

坑別	月別	三月分(作業日數二五日間)	十月分(作業日數二四日間)	比較増減(二日)
第一露天掘		三、五七五・〇〇	三、五三三・〇〇	△ 四二・〇〇
第二露天掘		四九、二三三・〇〇	四六、五二二・〇〇	△ 二、八一一・〇〇
千金寨		三三、〇〇〇・〇〇	五、六八五・〇〇	△ 六、八一五・〇〇
大山		四〇、〇〇〇・〇〇	三、九七五・〇〇	△ 三、〇二五・〇〇
東郷		二一、三九三・〇〇	二、九三二・〇〇	△ 一、四六一・〇〇
楊柏堡		四三、五七三・〇〇	三、九七五・〇〇	△ 三、五九八・〇〇
老虎臺		三七、五〇〇・〇〇	一、五二七・〇〇	△ 一、九七三・〇〇